

LUXMAN  
SUPER AUDIO CD PLAYER  
D-08



このたびは、ラックスマンのスーパーオーディオ CD プレーヤー D-08 をお求めいただき誠にありがとうございます。ご使用前にこのオーナーズマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いいただくことで本機の性能が十分に発揮され最高のグレードで音楽再生をお楽しみいただけることと思います。

なお、お読みになった後は保証書、安全上のご注意と共に大切に保管してください。

## 目 次

使用上の注意 .....	1
本機の特徴 .....	3
本機で再生できるディスクについて .....	5
お使いの前に .....	7
各部の名称と用途 .....	9
接続方法 .....	21
ディスクの再生 .....	23
ディスクの一時停止 / 停止 .....	25
スキップ / 早送り / 早戻し .....	27
ダイレクト・サーチ .....	29
リピート 再生 .....	31
プログラム再生 .....	33
ランダム再生 .....	37
ディスク情報 / ズーム .....	39
詳細設定 .....	41
BLOCK DIAGRAM .....	47
規格 .....	48
修理に出される前に .....	49
アフターサービスと品質保証について .....	51

# 使用上の注意

## 再生中は本機を絶対に動かさない

再生中はディスクが高速回転していますので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。

## 本機を移動する場合

本機を移動する場合は、必ずディスクを取り出しディスクテーブルを閉じてください。さらに電源ボタンを押し、表示窓の「-STANDBY-」表示が消えてから電源コードを抜いてください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。

## 設置する場所

- ・組み合わせて使用するステレオシステムのそばの安定した場所を選んでください。
- ・テレビやカラーモニターの近くに本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。
- ・極力水平な場所に設置してください。

## 次のような場所は避けてください

- ・直射日光のあたる所
- ・湿気の多い所や風通しの悪い所
- ・極端に暑い所や寒い所
- ・振動のある所
- ・ホコリの多い所
- ・油煙、蒸気、熱があたる所(台所など)

## 上に物をのせない

本機の上に物をのせないでください。

## 熱を受けないように

本機をアンプなど、熱を発生する機器の上ののせないでください。ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱を避けるため、アンプよりできるだけ下の棚に入れてください。

## ガラスドア付きラックに入れたときのご注意

ラックのガラスドアを閉めたままリモコンのオープン/クローズ(▲)ボタンを押してディスクテーブルを開けないでください。ディスクテーブルの動きが妨げられ、故障の原因になります。

## 本機を使わないときは電源を切る

テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。ラジオの音声の場合も同様にノイズが入ることがあります。

## 結露について

冬期などに本機を寒いところから温かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部やレンズ)に水滴が付きます(結露)。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて1~2時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。

夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露がおこることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

## ディスクの取り扱い方

- ・ 損傷のあるディスク(ひびやそりのあるディスク)は使用しないでください。
- ・ ディスクの信号面にキズや汚れを付けないでください。
- ・ ディスクに紙やシールなどを貼り付けないでください。ディスクにそりが発生し、再生ができなくなる恐れがあります。また、レンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、のりなどがはみ出している恐れがありますので、のりなどはみ出しがないことを確認してからご使用ください。
- ・ ディスクを2枚重ねて再生しないでください。

## ディスクの保管

- ・ 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所、極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ・ ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

## ディスクのお手入れ

- ・ ディスクに指紋やホコリが付いた場合、音質が低下することがあります。柔らかい布で内周から外周方向へ軽く拭いてください(円周に沿って拭かないでください)。
- ・ ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。またレコードスプレー、帯電防止剤などをご使用できません。
- ・ 汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭きとり、その後乾いた布で水気を拭きとってください。

## 特殊な形のディスクについて

本機では、特殊な形のディスク(ハート型や六角形等)は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。

## レンズのクリーニングについて

レンズにゴミやほこりがたまると、音飛びすることがあります。このような場合は『アフターサービスと品質保証について』(P. 51)をお読みのうえ、清掃をご依頼ください。市販されているクリーニングディスクは、レンズを破損する恐れがありますのでご使用にならないでください。

## 光デジタルケーブル取り扱い上のご注意

- ・ 急な角度に折り曲げないでください。保管するときは、直径が15cm以上になるようにしてください。
- ・ 接続の際はしっかり奥まで差し込んでください。
- ・ 長さは3m以下のものを使用してください。
- ・ プラグにほこりが付着したときは、柔らかい布で拭いてから接続してください。

## 製品のお手入れについて

- ・ 本体は通常、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞り、汚れを拭きとった後乾いた布で拭いてください。
- ・ アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。
- ・ 化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。
- ・ お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

# 本機の特徴 — 2チャンネル専用 Super Audio CD/CD プレーヤー

## LxDTM — LuXman original Disc Transport Mechanism —

8mm厚のアルミ板にトランスポートを実装し、このトランスポート・ブロックがシャーシを兼ねる高剛性構造、SSB(Stabilized Support Block)を採用。アルミダイキャスト・トレイをラビ塗装することにより振動と共振を抑制。

QLL(Quiet Linear Loder)により、静かで滑らかなトレイ開閉を実現。

## シャッター機構

DPS(Dust-Proof Shutter)により防塵、遮音。

## アナログ回路

ODNF Ver.3.0を採用したディスクリットアンプを4チャンネル搭載。D/Aコンバーターから完全フルバランス伝送。

裸利得6dBのディスクリットアンプに歪波形のみをフィードバックする Only Distortion Negative Feedback方式を採用。

## DSD → PCM 変換機能

Super Audio CDを再生している時にトランスポートから出力されるDSD信号をPCM信号に変換してから、D/Aコンバーターに入力。

この機能を使用しないときは、DSD信号を直接D/Aコンバーターで再生。

## ジッターリダクション回路の採用

システムクロックのジッターを押さえるジッターリダクション機能搭載。

## レイヤー切り替え機能

本体もしくはリモコンの1ボタンでHybrid Super Audio CDのレイヤー切り替えが可能。

## ズーム機能

ディスク再生中にリモコンのZoomボタンを押すとトラックナンバーと時間情報を拡大して表示。

## 4種類の再生モード

ノーマル再生、プログラム再生、ランダム再生、リピート再生可能。

## デジタル入力端子

コアキシャル1系統、オプティカル2系統を装備。32kHzから96kHzまでのSPDIFフォーマット信号に対応。  
他のオーディオ機器のデジタル音声出力信号を本機の高音質な回路を使用して再生可能。

## ラストメモリー機能

デジタル入力やSACD/CD、DSD/PCM等の設定値をフラッシュメモリーに記憶。

## ディマー機能

本体表示窓の明るさを4段階に切替え可能。

## デジタル出力オフ

デジタル音声出力をオフにすることによりアナログ出力の質を向上。

## アナログ出力端子

銅合金製RCA出力端子とノイトリック社製XLR端子。

## 脚

グラデーショントングステン製の脚を採用。

## ピールコートPCB

音声回路の基板は銅箔の上にレジストを塗布せず金メッキ処理、レジストの誘電効果を排除。

## 電源ケーブル(JPA-15000)

線材はOFCの3.5cm<sup>2</sup>を使用した極太線を採用。

## リモコン(RD-14)

アルミケースのリモコン。タクトスイッチによる確かなクリック感を実現。

## ビット拡張機能

音声データのビット長を拡張(伸長)する機能。16bitデータを24bitに変換することにより、微少信号において滑らかで繊細な音声を楽しむことが可能。

## 省エネルギー設計

待機時の消費電力を1Wに抑えた省エネルギー設計。

# 本機で再生できるディスクについて

## 本機で再生できるディスクの種類

以下のマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。

本機で再生できるディスクの種類とマーク		
SACD  SUPER AUDIO CD		
CD 	CD-R 	CD-RW 

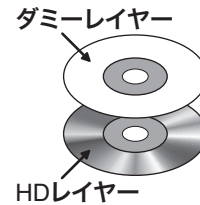
本機はアダプター(CD用)を使用しないで8cmCDを再生することができます。8cmアダプター(CD用)は使用しないでください。

- レコーダー、またはパソコンで記録した CD-R/CD-RW ディスクを再生できないことがあります(原因:ディスクの特性、傷、汚れ、プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など)。
- パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定、および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください(詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください)。
- ファイナライズしていない CD-R/CD-RW ディスクでは、一部の時間情報が表示されないことがあります。
- 詳しい CD-R/CD-RW ディスクの取扱いについては、ディスクの使用上の注意をご覧ください。

## Super Audio CD

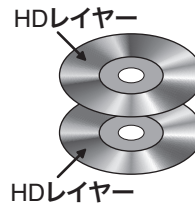
### — 3種類のディスクバリエーション —

#### ・シングルレイヤー



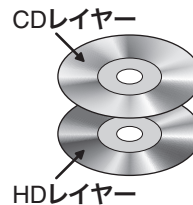
Super Audio CD層が一層のディスクです。

#### ・デュアルレイヤー



長時間に対応した Super Audio CD層が二層のディスクです。

#### ・ハイブリッドレイヤー

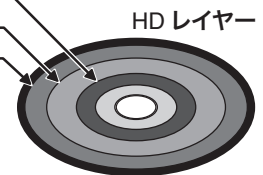


通常の CD層と Super Audio CD層の両方を持ったタイプです。ハイブリッドレイヤーディスクの場合、Super Audio CDプレーヤーでは HDレイヤーの高音質を楽しめますし、既存の CDプレーヤーで再生しても CDレイヤーの音を聞くことができます。

HDレイヤー：スーパーオーディオ CD層  
CDレイヤー：現行の CD層

HDレイヤーには

- ・2チャンネルステレオエリア
- ・マルチチャンネルエリア
- ・エクストラデータエリア (将来の拡張用) が用意されています。





## Super Audio CD と CD の比較

項目	Super Audio CD	CD
ディスク直径(cm)	12	12
ディスク厚さ(mm)	1.2	1.2
符号化方式	1 ビットダイレクトストリームデジタル(DSD)	16 ビットリニア PCM
サンプリング周波数	2.8224 MHz(CD の 64 倍)	44.1 kHz
記録可能時間	2ch のみで 109 分。2ch+ マルチ ch でそれぞれ 60 ~ 70 分程度収録可能 *1	74 分
チャンネル数	2、3、3.1、4、4.1、5、5.1	2
最大トラック数	255	99
最大インデックス数	255	99
再生周波数範囲	DC ~ 100 kHz	5 ~ 20 kHz
ダイナミックレンジ *2	120 dB 以上(可聴帯域)	96 dB

\*1 記録時間はシングルレイヤーの場合で、収録可能時間は DST(Direct Stream Transfer)\*3 の圧縮率により変わります

\*2 理論上の数値

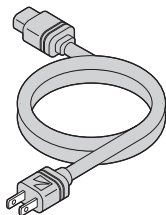
\*3 DSD 信号の特性に注目して開発された DSD 信号用の可変ビットレート・可逆(ロスレス)圧縮方式

# お使いの前に

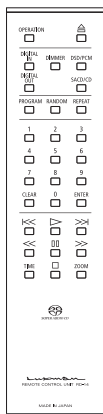
## 付属品の確認

箱から出したら次の付属品がそろっていることを確認してください。

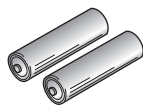
- 電源コード (JPA-15000)



- リモートコントロールユニット (RD-14)



- 単 4 形乾電池 (2 本)

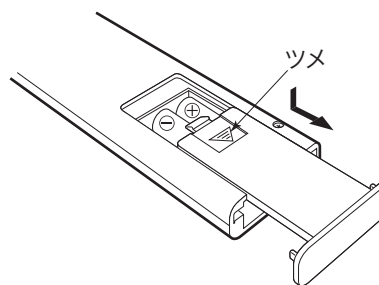


- 保証登録書
- 安全上のご注意
- 取扱説明書 (本書)

## リモコンの準備

### リモコンに乾電池を入れる

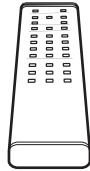
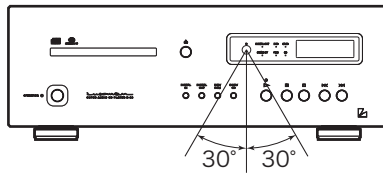
1. リモコンの裏面にあるバッテリー・カバーをはずしてください。  
バッテリー・カバーのツメに指を乗せて軽く押し、バッテリー・カバーを下にスライドして抜いてください。
2. バッテリー・ケースの中の図と同じように電池の ⊕ ⊖ を合せて単 4 乾電池を入れます。
3. バッテリー・カバーをはずしたときと逆に、下の方からバッテリー・カバーのツメ側をあてがいスライドしてパチッと音がするまで押し込んでください。



- 
- 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 乾電池は同じ形状でも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 長い間 (1 カ月以上) リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐため、乾電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭きとってから新しい乾電池を入れてください。
  - 不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示 (条例) に従って処理してください。
-

## リモコンの使用範囲

リモコンはプレーヤー本体前面部のリモコン受光部に向けて操作します。プレーヤーからリモコンの距離は約5m、またリモコン受光部を基準にして左右30°までの範囲で操作できます。



有効距離 約5m

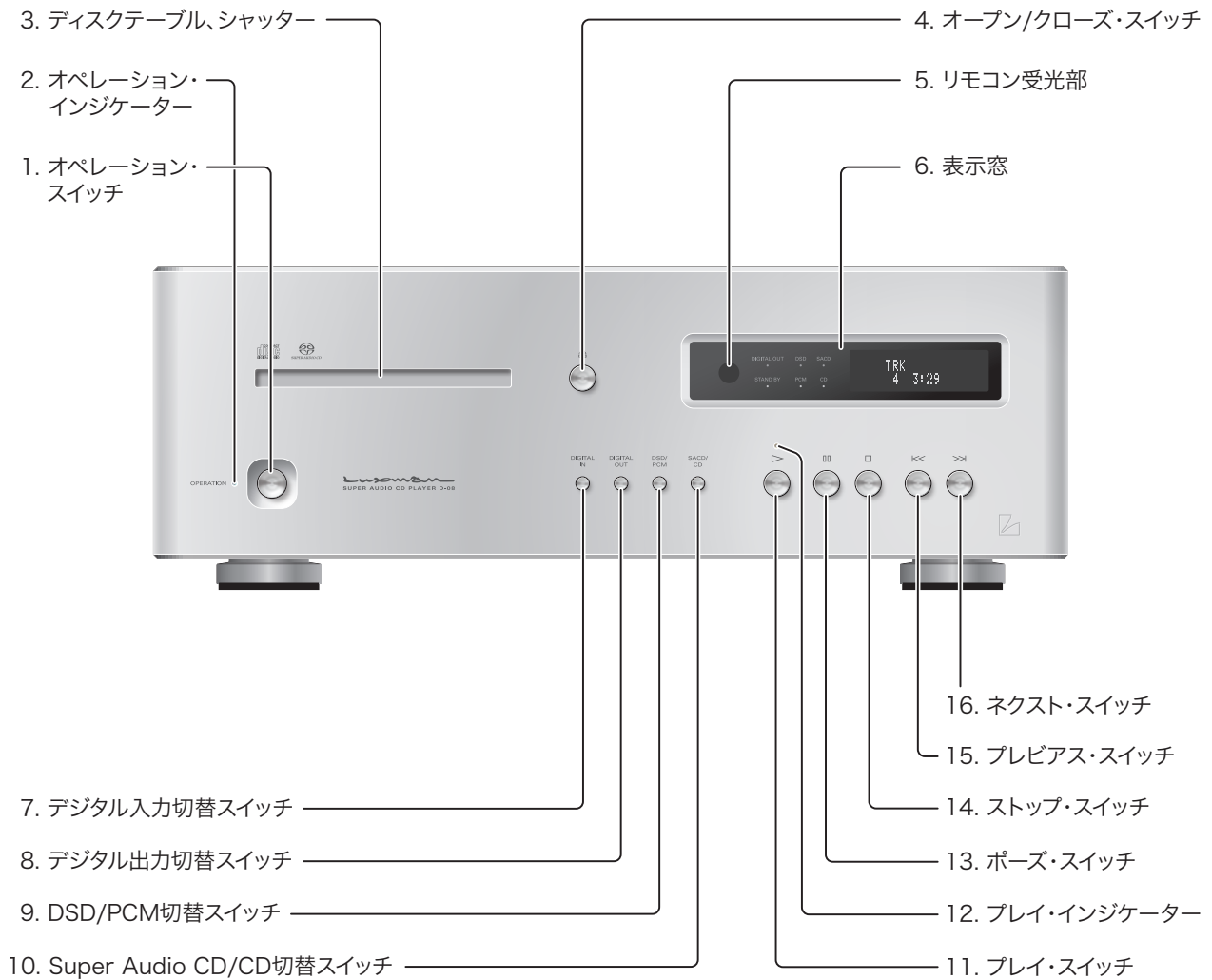
---

リモコン受光部に直接日光や強い光を当てないようにしてください。誤動作の原因となります。

---

# 各部の名称と用途

## 本体正面



## 1. オペレーション・スイッチ/ OPERATION

スタンバイ状態(待機状態)のときにこのスイッチを押すとスタンバイ・インジケーターが消灯し、オペレーション状態(動作状態)になります。オペレーション状態のときにもう一度このスイッチを押すとスタンバイ状態になります。

## 2. オペレーション・インジケーター/ OPERATION

スタンバイ状態のときにオペレーション・スイッチを押すと点灯してオペレーション状態であることを示します。オペレーション状態のときにもう一度オペレーション・スイッチを押すと、このインジケーターが消灯しスタンバイ・インジケーターが点灯します。

## 3. ディスクテーブル、シャッター

ディスクを出し入れするときに、オープン/クローズ・スイッチ(▲)で開閉します。

## 4. オープン/クローズ・スイッチ/(▲)

ディスクテーブルを開閉するときに押します。

## 5. リモコン受光部/R

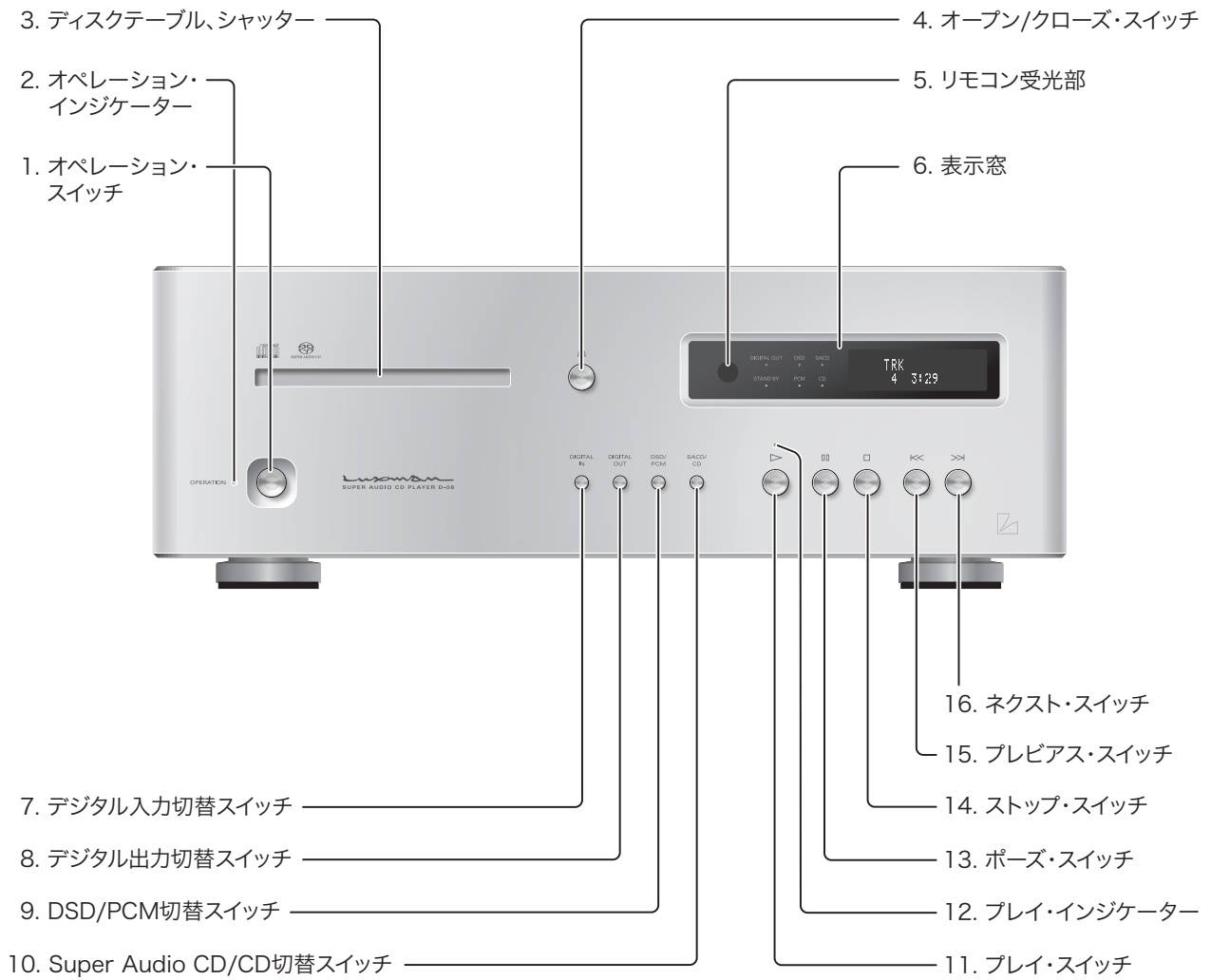
リモコンの赤外線信号を受けます。

## 6. 表示窓

本機の動作状況を表示します。6個のインジケーターと表示管で構成されます。

# 各部の名称と用途

## 本体正面



## 7. デジタル入力切替スイッチ/ DIGITAL IN

本機を D/A コンバーターとして使用するときには、このスイッチを押します。コアキシャル、オプティカル 1、オプティカル 2、内部プレーヤーを切替えます。

## 8. デジタル出力切替スイッチ/ DIGITAL OUT

デジタル音声出力をオン・オフするときには、このスイッチを押します。押すたびにオンとオフが切り替わります。Super Audio CD(HD 層選択)ではデジタル音声出力できません。

## 9. DSD/PCM 切替スイッチ / DSD/ PCM

Super Audio CD の HD 層(通称 SACD 層)を再生しているときに、ディスクから得られた DSD 信号をそのまま D/A コンバーター IC に入力するか、DSD 信号を一度 PCM 信号に変換して D/A コンバーター IC に入力するかを選択する時に押します。

## 10. Super Audio CD/CD 切替スイッチ / SACD/CD

Hybrid Super Audio CD を再生するときには、再生レイヤーを HD 層(通称 SACD 層)と CD 層の間で切り替えます。

## 11. プレイ・スイッチ / (▶)

ディスクを再生します。

## 12. プレイ・インジケータ

ディスクを再生しているときに点灯します。一時停止のときは点滅します。

## 13. ポーズ・スイッチ / (||)

再生中に押すと音声が一時停止します。もう一度押すと再生を再開します。一時停止中は、プレイ・インジケータが点滅します。

## 14. ストップ・スイッチ / (■)

ディスクの再生を停止します。

## 15. プレビウス・スイッチ / (◀◀)

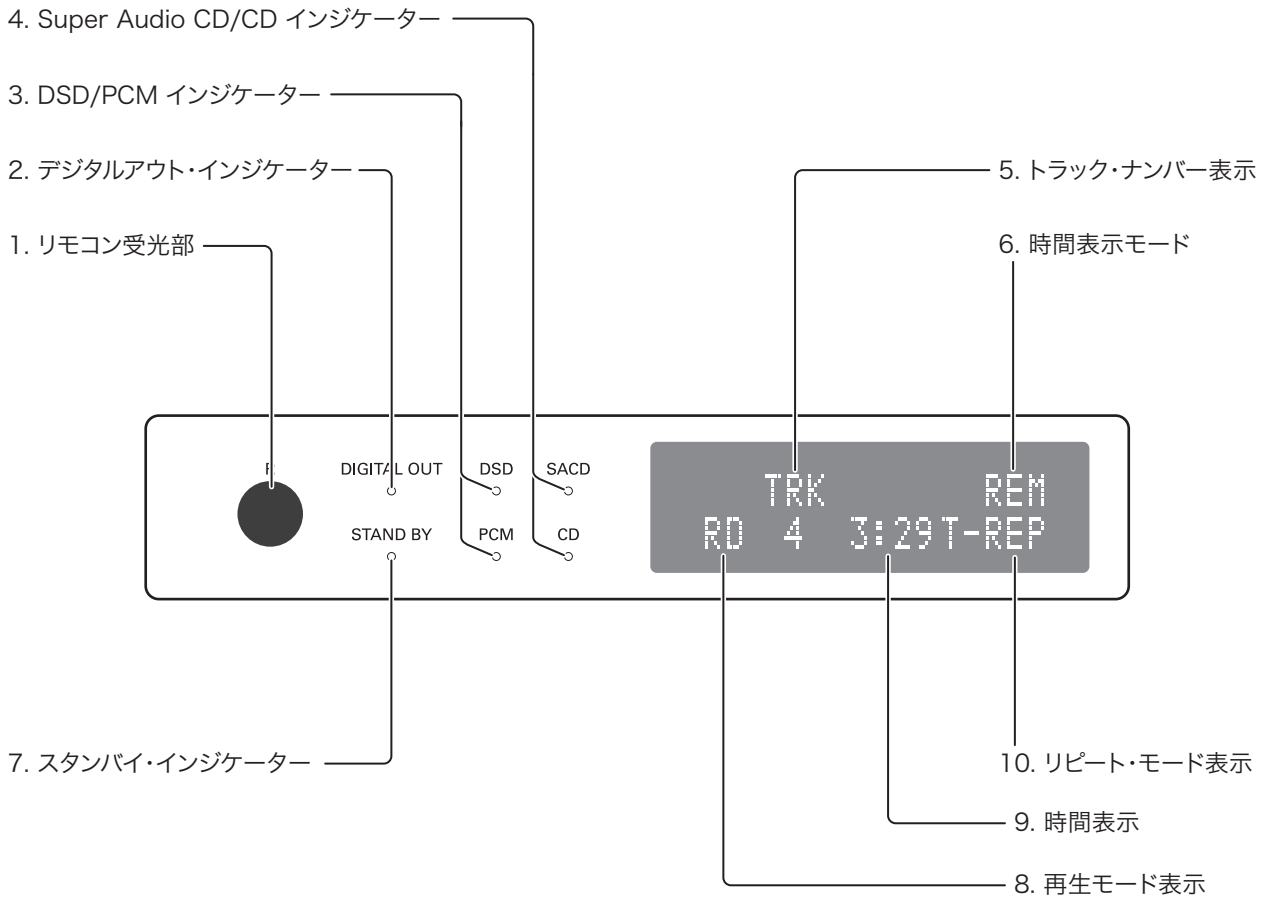
現在再生中のトラックの先頭に戻ります。2 回押すと前のトラックの先頭に戻ります。

## 16. ネクスト・スイッチ / (▶▶)

次のトラックの先頭に進みます。

# 各部の名称と用途

## 本体表示窓部





## 1. リモコン受光部 / R

リモコンの赤外線信号を受けます。

## 2. デジタルアウト・インジケーター / DIGITAL OUT

デジタル音声出力がオンのときに点灯します。  
Super Audio CD(HD層選択)ではデジタル音声を出力できませんので、消灯します。

## 3. DSD/PCM インジケーター / DSD/PCM

Super Audio CDのHD層(通称SACD層)を再生している場合、ディスクから得られたDSD信号をそのままD/AコンバーターICに入力するときにDSDインジケーターが点灯します。

DSD信号を一度PCM信号に変換してD/AコンバーターICに入力するときにPCMインジケーターが点灯します。

## 4. Super Audio CD/CD インジケーター / SACD/CD

Hybrid Super Audio CDのHD層(通称SACD層)を再生しているときにSACDインジケーターが点灯します。

CDもしくはHybrid Super Audio CDのCD層を再生しているときにCDインジケーターが点灯します。

## 5. トラック・ナンバー表示 / TRK

トラック番号が表示されているときに上段には“TRK”と表示され、下段にはトラック番号が表示されます。

## 6. 時間表示モード

残り時間表示のモードを表します。トラックの残り時間のときに“REM”、ディスクの残り時間のときに“T-REM”、トラックの経過時間のときは非表示になります。

## 7. スタンバイ・インジケーター / STAND BY

スタンバイ状態のときに点灯します。

## 8. 再生モード表示

ランダム再生のとき“RD”が表示され、プログラム再生のときは“PG”が表示されます。通常再生のときは非表示になります。

## 9. 時間表示

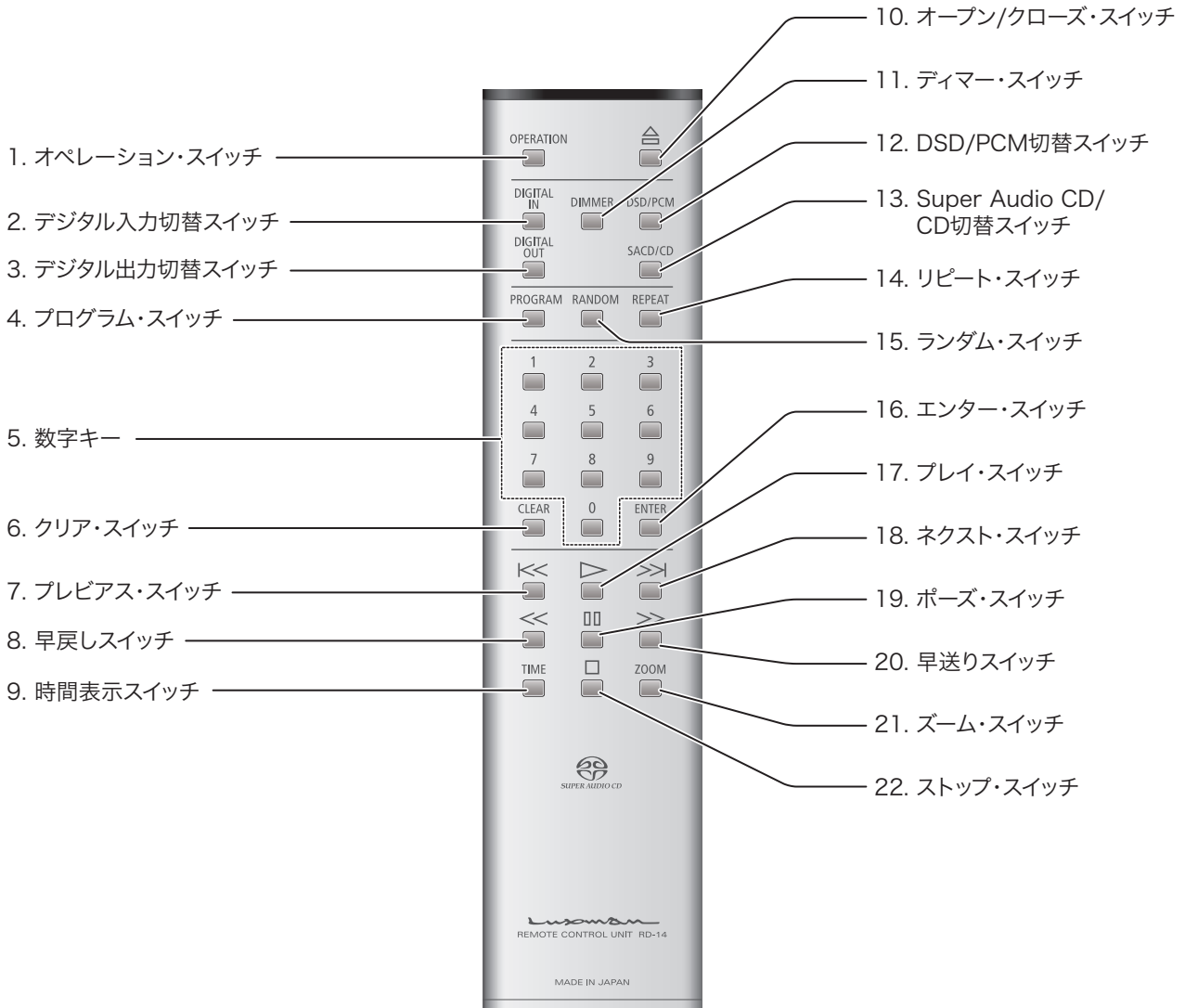
再生しているトラックの経過時間、再生しているトラックの残り時間、ディスクの残り時間を表示します。時間表示モードにより内容を切り替えます。

## 10. リピート・モード表示

曲を繰り返し再生するときのモードを表示します。トラック・リピート(T-REP)とオール・リピート(A-REP)の2種類があります。

# 各部の名称と用途

## リモコン



## 1. オペレーション・スイッチ/ OPERATION

スタンバイ状態(待機状態)のときにこのスイッチを押すとスタンバイ・インジケータが消灯し、オペレーション状態(動作状態)になります。オペレーション状態のときにもう一度このスイッチを押すとスタンバイ状態になります。

## 2. デジタル入力切替スイッチ/ DIGITAL IN

本機をD/Aコンバーターとして使用するときには、コアキシャル、オプティカル1、オプティカル2、内部プレーヤーを切替えます。

## 3. デジタル出力切替スイッチ/ DIGITAL OUT

デジタル音声出力をオン・オフするときに押します。押すたびにオンとオフが切り替わります。Super Audio CD(HD層選択)ではデジタル音声を出力できません。

## 4. プログラム・スイッチ/ PROGRAM

トラック番号をプログラムしてお好みの順番に再生します。

## 5. 数字キー/ 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 0

ダイレクト・サーチやプログラムをするときに、トラック番号を指定するために使用します。

## 6. クリア・スイッチ/ CLEAR

プログラム再生で設定した内容を取り消すために使用します。

## 7. プレビウス・スイッチ/ (◀◀)

現在再生中のトラックの先頭に戻ります。2回押すと前のトラックの先頭に戻ります。

## 8. 早戻しスイッチ/ (◀◀)

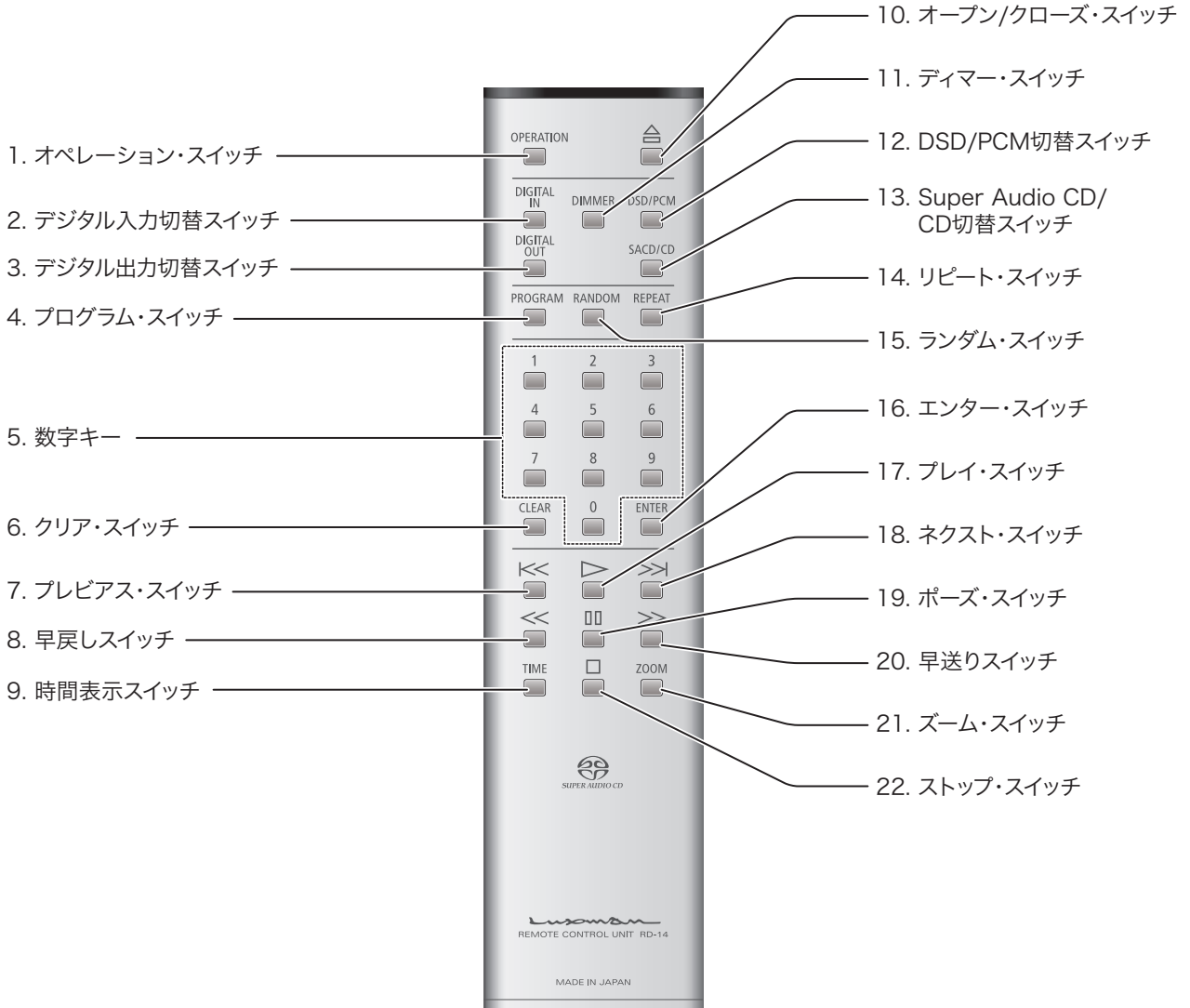
再生中、音声の早戻しをします。

## 9. 時間表示スイッチ/ TIME

時間表示を切り替えます。再生しているトラックの経過時間、再生しているトラックの残り時間、ディスクの残り時間を切り替えます。

# 各部の名称と用途

## リモコン



## 10.オープン/クローズ・スイッチ/▲

ディスクテーブルを開閉するときに押します。

## 11.ディマー・スイッチ/ DIMMER

本体表示窓の明るさを調整します。通常の点灯から消灯まで明るさを4段階に切り換えられます。

## 12.DSD/PCM 切替スイッチ/ DSD/ PCM

Super Audio CDのHD層(通称SACD層)を再生しているときに、ディスクから得られたDSD信号をそのままD/AコンバーターICに入力するか、DSD信号を一度PCM信号に変換してD/AコンバーターICに入力するかを選択する時に押します。

DSD: Direct Stream Digital

PCM: Pulse Code Modulation

## 13.Super Audio CD/CD 切替スイッチ / SACD/CD

Hybrid Super Audio CDを再生するときに、再生レイヤーをHD層(通称SACD層)とCD層の間で切り替えます。

## 14.リピート・スイッチ/ REPEAT

曲を繰り返し再生する時に押します。トラック・リピート(T-REP)とオール・リピート(A-REP)の2種類があります。

## 15.ランダム・スイッチ/ RANDOM

ディスク内の曲を順不同に再生するときに押します。

## 16.エンター・スイッチ/ ENTER

設定/選択した項目を実行する時に押します。

## 17.プレイ・スイッチ/▶

ディスクを再生します。

## 18.ネクスト・スイッチ/▶▶

次のトラックの先頭に進みます。

## 19.ポーズ・スイッチ/⏸

再生中に押すと音声が一時的に停止します。もう一度押すと再生を再開します。一時停止中は、プレイ・インジケーターが点滅します。

## 20.早送りスイッチ/▶▶▶

再生中、音声の早送りをします。

## 21.ズーム・スイッチ/ ZOOM

ディスク再生中に押すとトラックナンバーと時間情報を拡大して表示します。

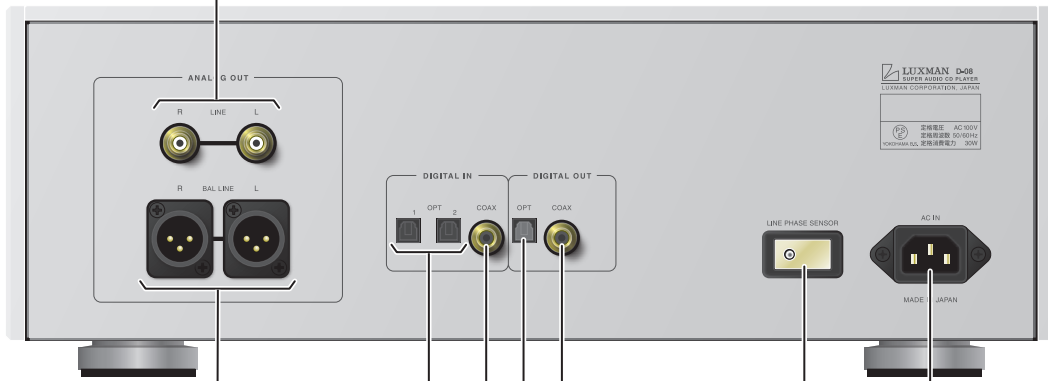
## 22.ストップ・スイッチ/■

ディスクの再生を停止します。

# 各部の名称と用途

## 本体後面

1. アナログ音声出力端子  
(アンバランス)



2. アナログ音声出力端子  
(バランス)

3. 光デジタル入力端子

4. 同軸デジタル入力端子

8. 電源ケーブル接続端子

7. ライン・フェーズ・センサー

6. 同軸デジタル音声出力端子

5. 光デジタル音声出力端子

## 1. アナログ音声出力端子(アンバランス) / LINE

プリ・アンプなどの機器のアンバランス入力にピンプラグケーブルを使用して接続してください。

## 2. アナログ音声出力端子(バランス) / BAL LINE

プリ・アンプなどの機器のバランス入力にバランスケーブルを使用して接続してください。バランス出力端子の極性は以下の通りです。

1. GROUND
2. COLD(-)
3. HOT(+)

## 3. 光デジタル入力端子 / OPT-1, OPT-2

本機をD/Aコンバーターとして使用するとき、デジタル出力端子のある録音対応機器などと光デジタルケーブルを使って接続します。

サンプリング周波数は、32kHz・44.1kHz・48kHz・88.2kHz・96kHzに対応しています。

本機の光端子はシャッター式です。光端子に接続するときは、端子の向きを合わせてしっかりと差し込んでください。誤った向きで無理に差し込むと端子が変形してケーブルを抜いてもシャッターが閉まらなくなることがあります。

## 4. 同軸デジタル入力端子 / COAX

本機をD/Aコンバーターとして使用するとき、デジタル出力端子のある録音対応機器などと同軸デジタルケーブルを使って接続します。

サンプリング周波数は、32kHz・44.1kHz・48kHz・88.2kHz・96kHzに対応しています。

## 5. 光デジタル音声出力端子 / OPT

デジタル入力端子のあるアンプなどと接続するときに、光デジタルケーブルを使って接続します。Super Audio CD(HD層選択)ではデジタル音声を出力できません。

本機の光端子はシャッター式です。光端子に接続するときは、端子の向きを合わせてしっかりと差し込んでください。誤った向きで無理に差し込むと端子が変形してケーブルを抜いてもシャッターが閉まらなくなることがあります。

## 6. 同軸デジタル音声出力端子 / COAX

デジタル入力端子のあるアンプなどと接続するときに、同軸デジタルケーブルを使って接続します。Super Audio CD(HD層選択)ではデジタル音声を出力できません。

## 7. ライン・フェーズ・センサー / LINE PHASE SENSOR

電源ケーブルをACコンセントに差し込むときに、電源の極性を確認するセンサーとインジケーターです。電源ケーブルをACコンセントに差し込んだ後に指でセンサーに触れ、インジケーターが消えたままであれば正常な極性です。インジケーターが点灯する場合は、電源プラグのコンセントへの差し込みを逆にしてください。

---

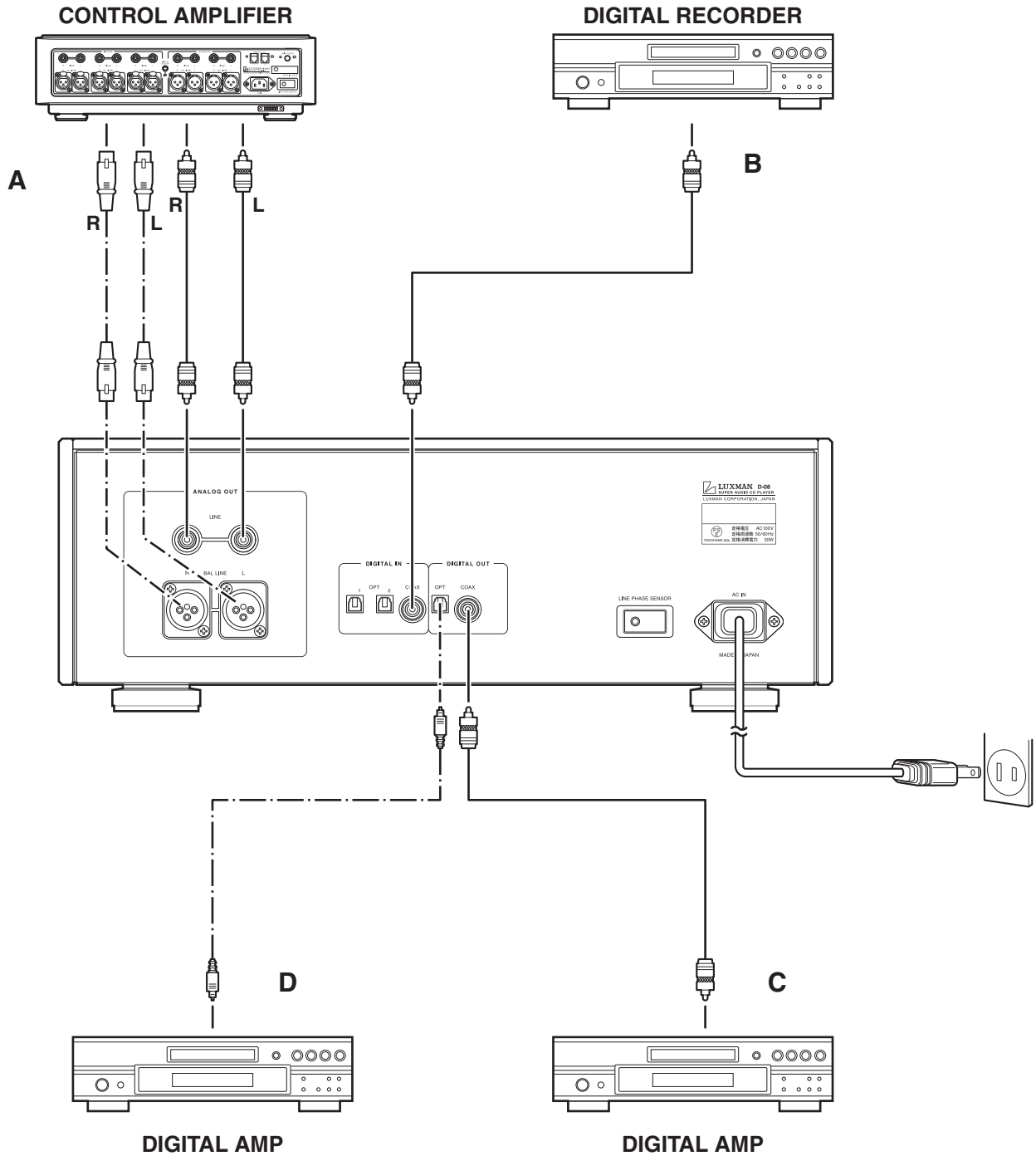
電源極性のチェックは他の機器との接続前に行ってください。マンションなど電源がフローティングされている場合は、極性が変化しないこともあります。この場合は、どちらの方向でもかまいません。

---

## 8. 電源ケーブル接続端子 / AC IN

付属の電源ケーブルを接続して、壁のコンセントから電源を供給します。

# 接続方法





## 接続する前に

1. 付属の電源ケーブルをコンセントへ接続します。
2. ライン・フェーズ・センサーを使用して電源の極性を確認します。

電源ケーブルを AC コンセントに差し込むときに、電源の極性を確認するセンサーとインジケータです。電源ケーブルを AC コンセントに差し込んだ後に指でセンサーに触れ、インジケータが消えたままであれば正常な極性です。インジケータが点灯する場合は、電源プラグのコンセントへの差し込みを逆にしてください。電源極性のチェックは他の機器との接続前に行ってください。マンションなど電源がフローティングされている場合は、極性が変化しないこともあります。この場合は、どちらの方向でもかまいません。

## 接続方法

3. 音声ケーブルを接続します。  
(左のイラスト A を参照)

アンバランス接続をする場合は、プリ・アンプなどの機器のアンバランス入力にピンプラグケーブルを使用して接続します。バランス接続をする場合は、プリ・アンプなどの機器のバランス入力にバランスケーブルを使用して接続します。このとき、左右のチャンネルを逆に接続しないように十分注意してください。左右のチャンネルを逆に接続すると音像定位が悪くなるなど正常なステレオ再生ができなくなります。

また、ピンプラグケーブルをご使用の場合は、ピンプラグケーブルのアース側が浮いているとハムなどの雑音が発生し、S/N 比が悪化する原因となります。接続プラグは確実に押し込んで接続してください。

---

機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源を切り、電源ケーブルを AC インレット(本体電源ケーブル接続端子 / AC IN)から抜いてください。電源ケーブルの本体側を抜くことで、一度確認した電源極性が再度電源ケーブルを挿したときに間違えることを防止できます。

---

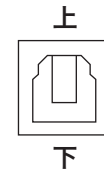
4. 本機を D/A コンバーターとして使用する  
とき。(左のイラスト B を参照)

デジタル出力端子のある機器と接続する場合は、同軸デジタルケーブルまたは光デジタルケーブルを使って接続します。

---

本機の光端子はシャッター式です。光端子に接続するときは、端子の向きを合わせてしっかりと差し込んでください。誤った向きで無理に差し込むと端子が変形してケーブルを抜いてもシャッターが閉まらなくなることがあります。

---



本機の光端子の向きは左図のようになっています。

5. デジタル入力端子のあるアンプなどと  
接続するとき。

### (左のイラスト C、D を参照)

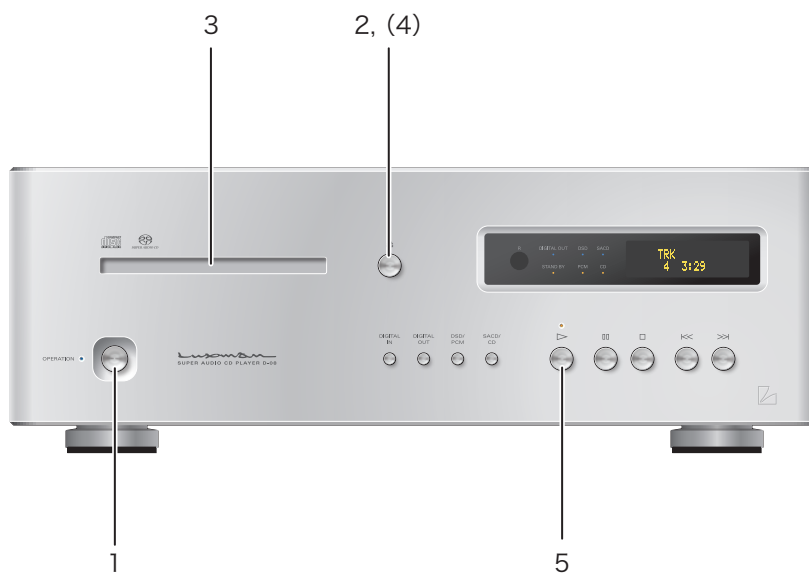
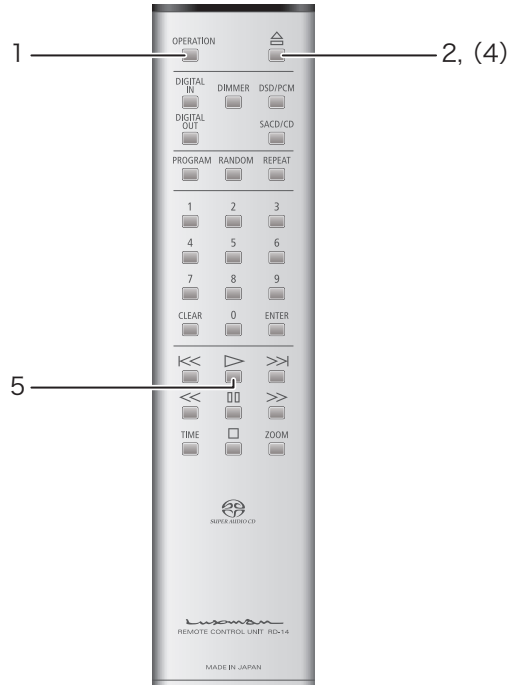
デジタル入力端子のあるアンプやレコーダーなどと接続するときに、同軸デジタルケーブル(C)または光デジタルケーブル(D)を使って接続します。Super Audio CD(HD 層選択)ではデジタル音声を出力できません。

---

本機の光端子はシャッター式です。光出力端子に接続するときは、端子の向きを合わせてしっかりと差し込んでください。誤った向きで無理に差し込むと端子が変形してケーブルを抜いてもシャッターが閉まらなくなることがあります。

---

# ディスクの再生



## ディスクを再生する

リモコン ・ 本体

- 1. オペレーション・スイッチを押します。**  
表示窓に“-OPERATION-”の文字が現れ、この文字が消えれば操作可能になります。
- 2. オープン/クローズ(▲)スイッチを押します。**  
ディスクテーブルが開きます。
- 3. ディスクテーブルのガイドに合わせて、ディスクを置きます。**
- 4. オープン/クローズ(▲)スイッチを押します。**  
ディスクテーブルが閉まり、ローディングを始めます。

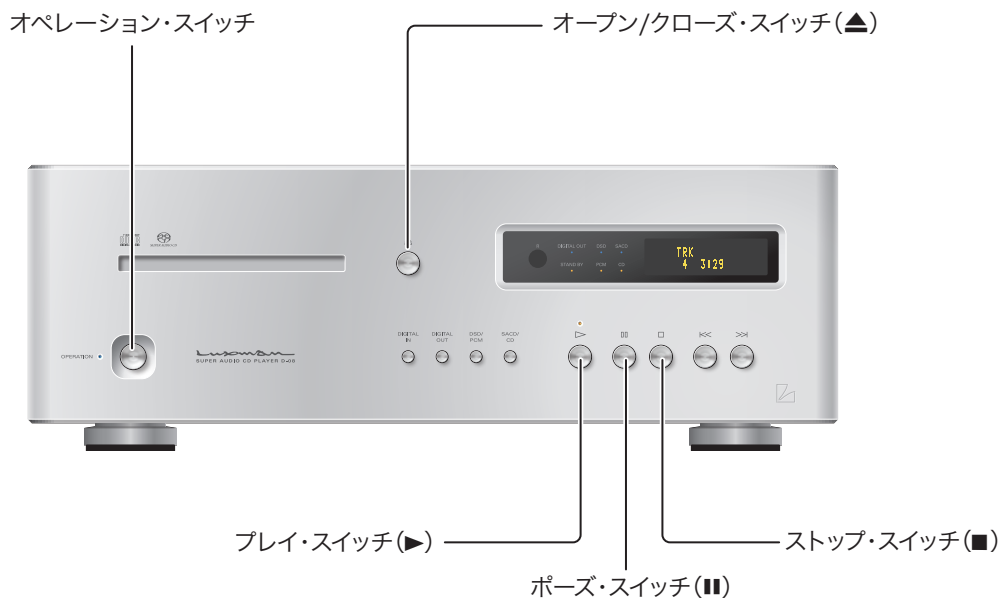
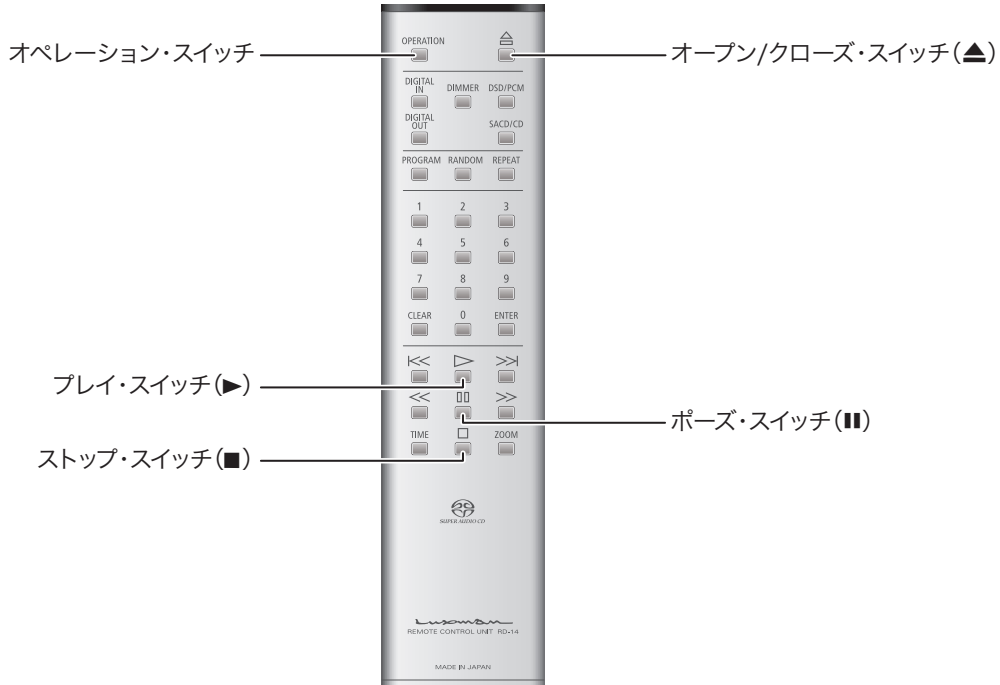
素早くディスクを再生するには、オープン/クローズ(▲)を押さずにプレイ(▶)スイッチを押します。

もしくはオープン/クローズ(▲)を押さずに数字キーを押して選曲しエンター・スイッチもしくはプレイ(▶)スイッチを押します。

ローディング動作が始まってからディスクの種類を表示し、トラック数と収録時間が表示されるまでは操作キーを受け付けません。予め次の動作を指定しておくことで、時間を短縮できます。

- 5. プレイ(▶)スイッチを押します。**

# ディスクの一時停止 / 停止



## ディスクを一時停止 / 停止する

リモコン ・ 本体

### ディスクの一時停止

1. 再生中にポーズ(⏸)スイッチを押します。

一時停止中は、プレイ・インジケータが点滅します。

### 通常の再生に戻す

2. 一時停止中にプレイ(▶)スイッチもしくはポーズ(⏸)スイッチを押します。

### ディスクを停止する

再生中にストップ(■)スイッチを押します。

### ディスクの取り出し

オープン/クローズ(⏏)スイッチを押します。

ディスクテーブルが開きます。

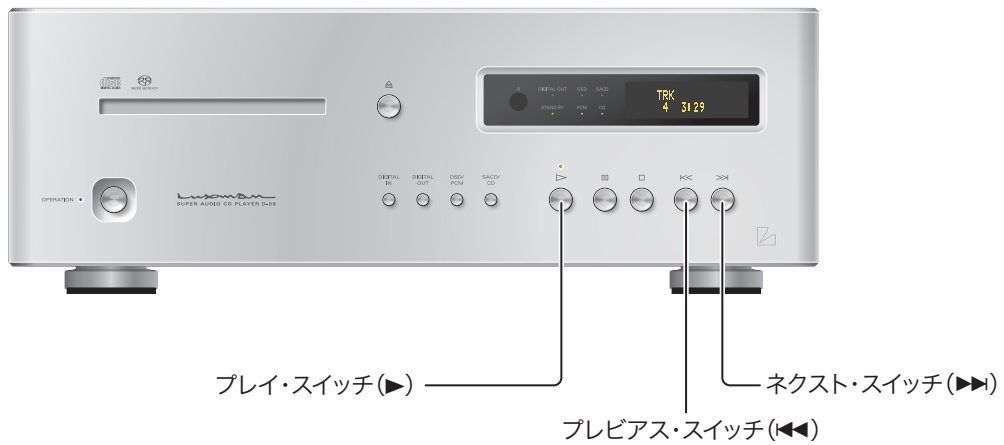
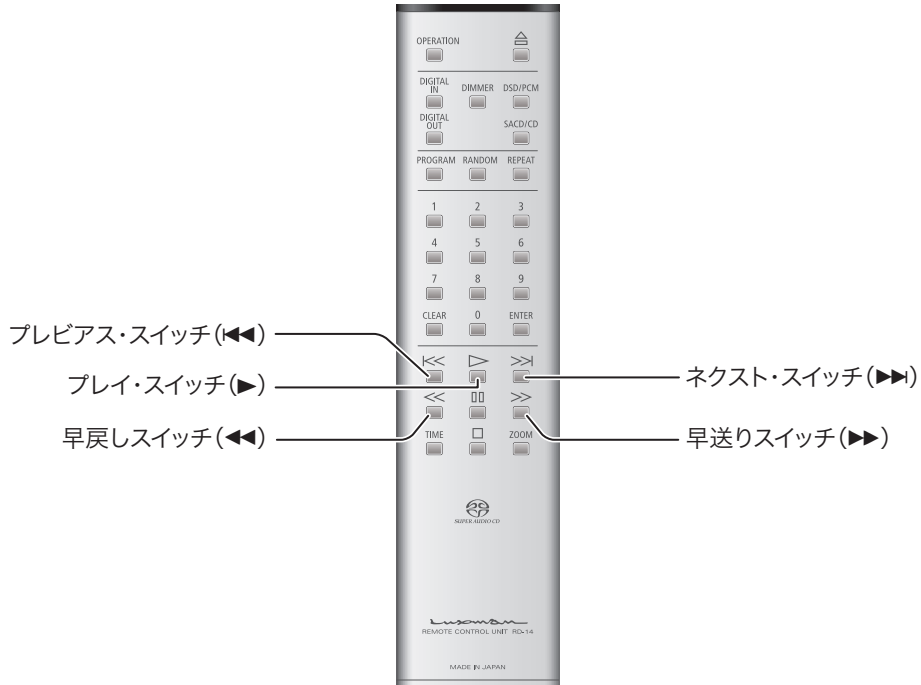
### 電源を切る(スタンバイ状態にする)

オペレーション・スイッチを押します。

表示窓に“-STANDBY-”の文字が現れ、スタンバイ・インジケータが点灯します。

完全に電源を切るには、電源コードをコンセントから抜く必要があります。

# スキップ / 早送り / 早戻し



## 聞きたいトラック(曲)にスキップする (頭出し)

リモコン ・ 本体

### スキップ(頭出し)

#### 再生したいトラックに進む

再生したいトラックに進むには、ネクスト(▶▶)スイッチを何回か押し、ご希望のトラックまでスキップします。

#### 再生したいトラックに戻る

再生したいトラックに戻るには、プレビウス(◀◀)スイッチを何回か押し、ご希望のトラックまでスキップします。

プレビウス・スイッチを1回押すと、現在再生中のトラックの先頭に戻ります。2回押すと前のトラックの先頭に戻ります。

## ディスクを早送り / 早戻しする (スキャン)

リモコン

### 早送りする

#### 1. 再生中に早送り(▶▶)スイッチを押す。

スイッチを押すたびに速さを4段階まで切り替えることができます。

表示窓に早送りと段階を表す“>>1, >>2, >>3, >>4”が表示されます。

#### 2. 通常の再生に戻すにはプレイ(▶)スイッチを押します。

### 早戻しする

#### 1. 再生中に早戻し(◀◀)スイッチを押す。

スイッチを押すたびに速さを4段階まで切り替えることができます。

表示窓に早送りと段階を表す“<<1, <<2, <<3, <<4”が表示されます。

#### 2. 通常の再生に戻すにはプレイ(▶)スイッチを押します。

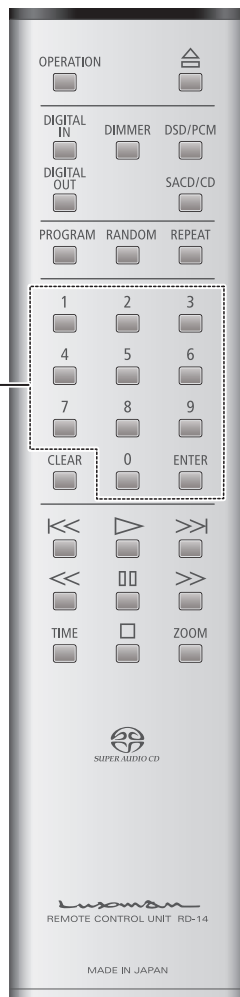
---

複数枚でセットになっている SACD では、ディスクの1曲目がトラック1でないことがあります。

---

# ダイレクト・サーチ

数字キー





## 聞きたいトラックを指定して再生する

### リモコン

#### 1. リモコンの数字キーでトラック番号を入力します。

15曲目を選ぶときは、数字キーの“1”を押し、次に“5”を押します。

#### 2. エンター・スイッチもしくはプレイ・スイッチを押します。

エンター・スイッチを押さなくても約4秒経過すると自動的に再生を開始します。Super Audio CDではトラック数が最大255までであるため、3桁の入力が終わるまでの時間を考慮し、自動ジャンプまで約4秒の間隔を取ってあります。

# リピート再生



リピート・スイッチ

## 繰り返し再生する (リピート再生)

リモコン

再生している 1 曲だけを繰り返すトラック・リピート (T-REP) とディスクの全曲を繰り返すオール・リピート (A-REP) があります。

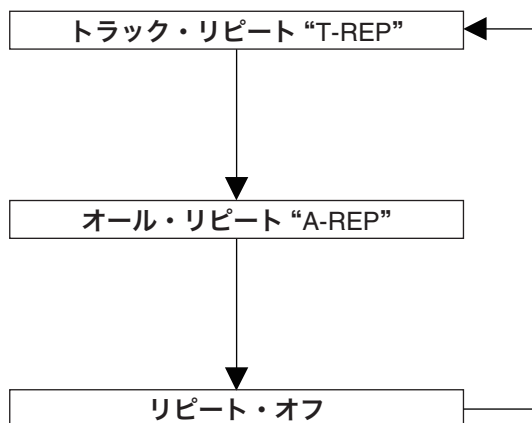
### トラック・リピート (T-REP)

1. 再生中にリピート (REPEAT) スイッチを 1 回押します。
2. 表示窓にトラック・リピートを表す “T-REP” が表示されます。
3. 更にリピート (REPEAT) スイッチを 2 回押すと、トラック・リピートが解除されます。

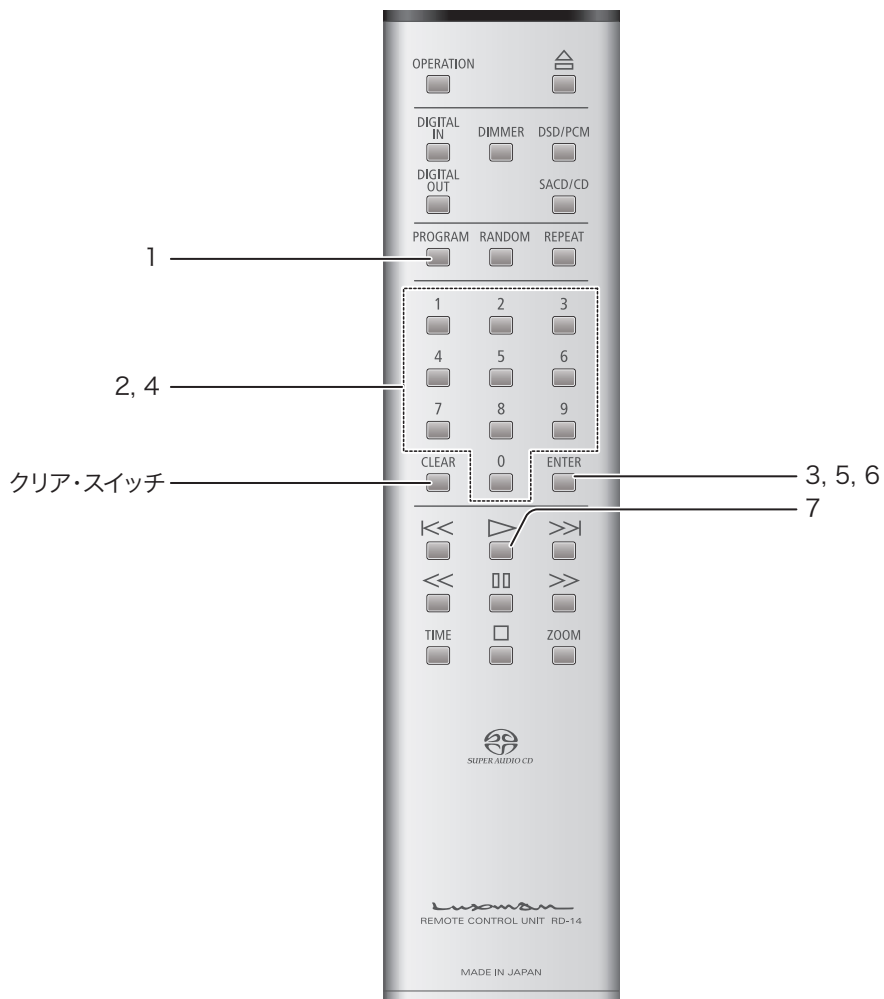
ディスクを停止した場合もリピート再生は解除されます。

### オール・リピート (A-REP)

1. 再生中にリピート (REPEAT) スイッチを 2 回押します。
2. 表示窓にオール・リピートを表す “A-REP” が表示されます。
3. 更にリピート (REPEAT) スイッチを 1 回押すと、オール・リピートが解除されます。  
ディスクを停止した場合もリピート再生は解除されます。



# プログラム再生



## 順番を変えて再生する (プログラム再生)

リモコン

聞きたいトラックを最大 24 個まで、お好みの順番に登録することができます。

### 1. 停止中にプログラム(PROGRAM)スイッチを押します。

表示窓にプログラム用の表示が出ます。

PG 00	T-TIME
00:00	

### 2. 聞きたい曲の番号をリモコンの数字キーで押します。

5 曲目を選ぶときは、数字キーの“5”を押します。

PG 01	5
-------	---

### 3. エンター(ENTER)スイッチを押します。

曲番が確定し、プログラムしたトラック数とプログラムしたトラックの合計時間が表示されます。

PG 01	T-TIME
01:28	

### 4. 同様に、次に聞きたい曲の番号を入力します。

15 曲目を選ぶときは、数字キーの“1”を押し、次に“5”を押します。

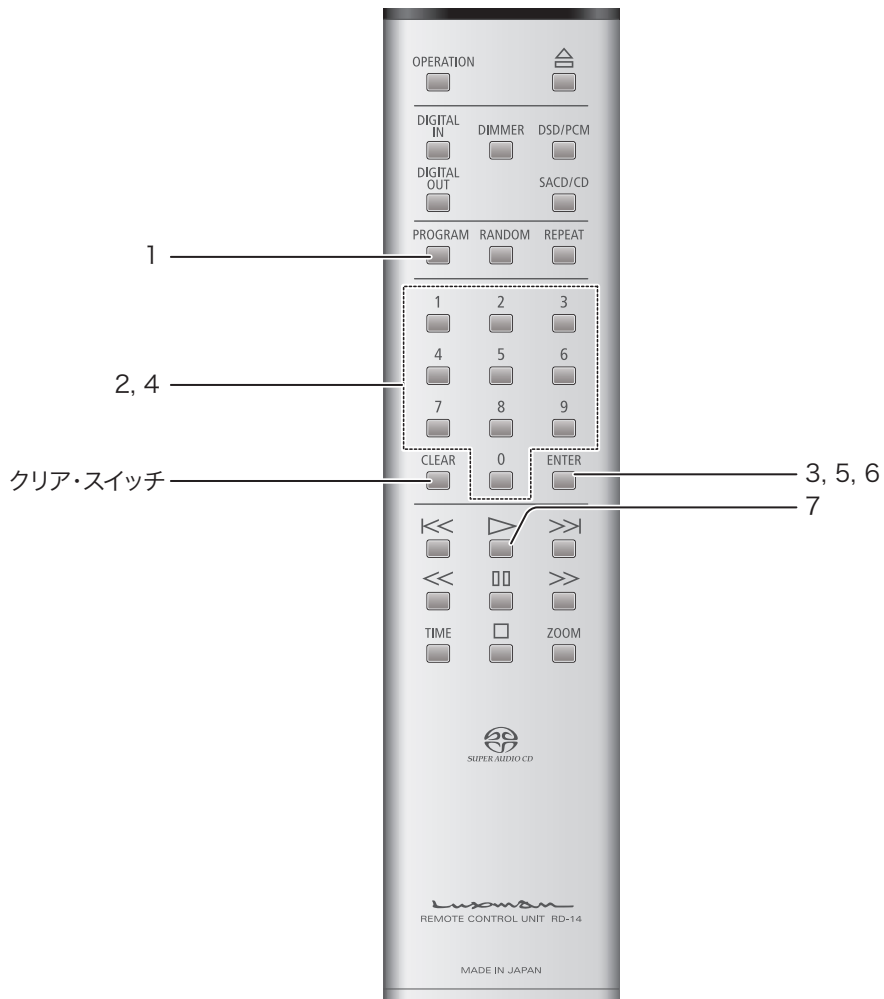
PG 02	15
-------	----

### 5. エンター(ENTER)スイッチを押します。

曲番が確定し、プログラムしたトラック数とプログラムしたトラックの合計時間が表示されます。

PG 02	T-TIME
02:01	

# プログラム再生



## 6. エンター (ENTER) スイッチを押します。

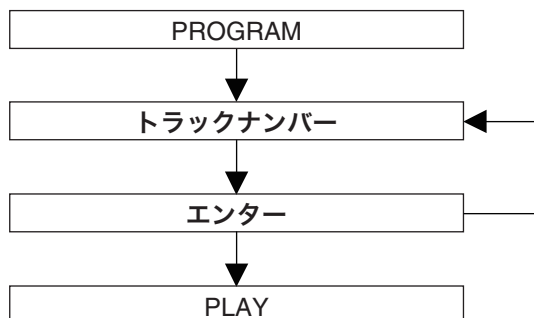
手順 2、3 を繰り返して、聞きたいトラックのトラック番号を登録します。

## 7. プレイ・スイッチ (▶) を押します。

TRK  
PG 5 1:25

- ・ 停止中に CLEAR スイッチを押すと、プログラムされている内容をすべて消去します。
- ・ 停止中に PROGRAM スイッチを押してから CLEAR スイッチを押すと、最後に登録したトラックから順番に削除します。
- ・ 一時停止をプログラムすることはできません。
- ・ プログラム再生中に REPEAT スイッチを押すと、プログラム順番のオール・リピート再生になります。
- ・ プログラム再生中はトラック・リピートにはできません。
- ・ プログラム再生中にネクスト (▶▶) スイッチを押すと次のプログラムのトラックを再生します。
- ・ もう一度プログラム再生するときは、停止中に PROGRAM スイッチを押してからプレイ (▶) スイッチを押します。

手順



# ランダム再生



ランダム・スイッチ



## 順不同に再生する (ランダム再生)

リモコン

全ての曲から順不同に選んで、各曲を1回ずつ再生します。

1. ランダム(RANDOM)スイッチを押します。

2. 表示窓にランダム再生を表す“RD”が表示されます。すべての曲を終了すると、自動的に停止します。

ディスクを停止するか、ランダム(RANDOM)スイッチをもう一度押すとランダム再生を停止します。ランダム再生中にネクスト(▶▶)スイッチを押すと、順不同に次のトラックを選択して再生します。また、プレビウス(◀◀)スイッチを押すと現在再生中のトラックの始めに戻ります。

# ディスク情報 / ズーム



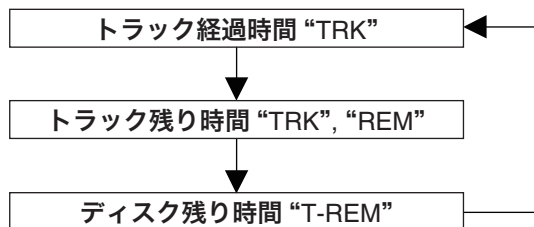
## ディスク情報

リモコン

### 再生中に時間表示を切り替えます。

再生中に TIME スイッチを押すたびに、以下のように切り替わります。

1. 現在のトラック番号とそのトラックの経過時間(デフォルト設定)  
表示窓に“TRK”が表示されます。
2. 現在のトラック番号とそのトラックの残り時間(リメイン)  
表示窓に“TRK”と“REM”が表示されます。
3. ディスクの残り時間(トータル・リメイン)  
表示窓に“T-REM”が表示されます。

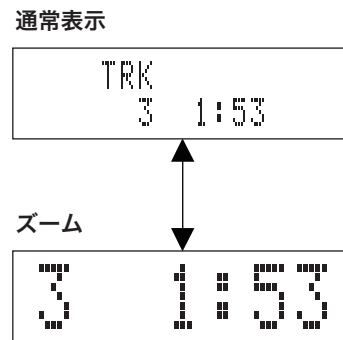


## ズーム

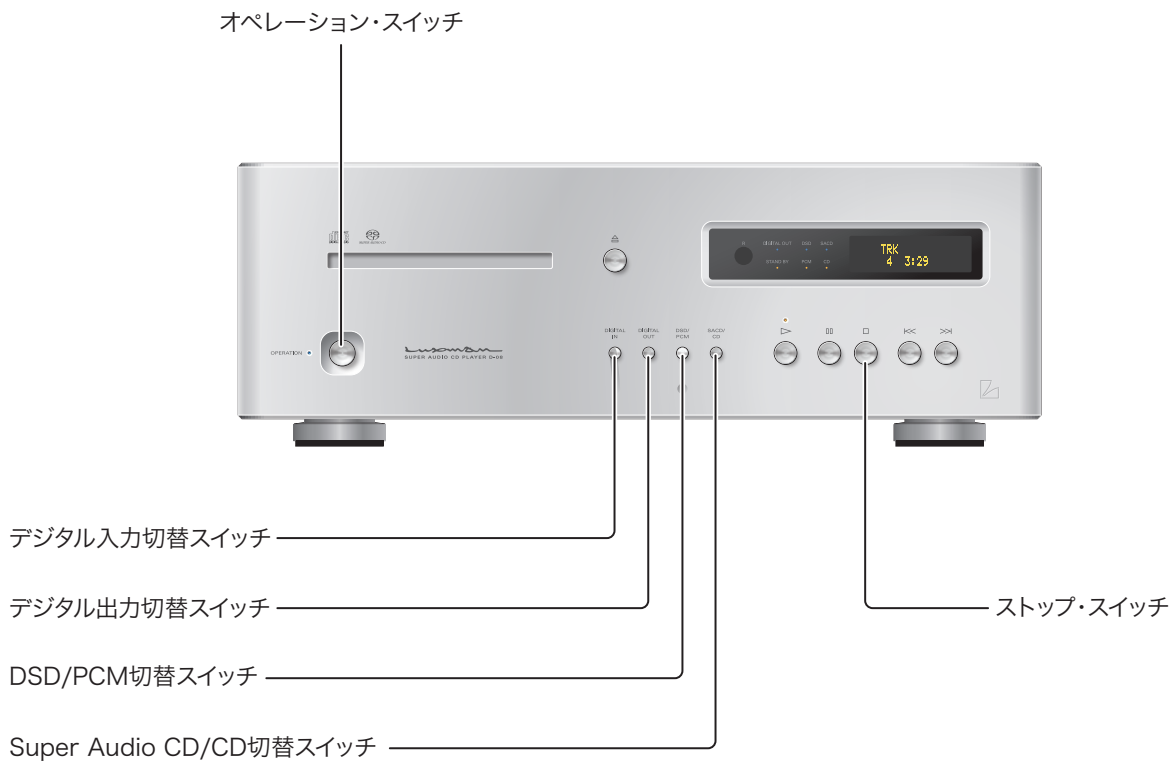
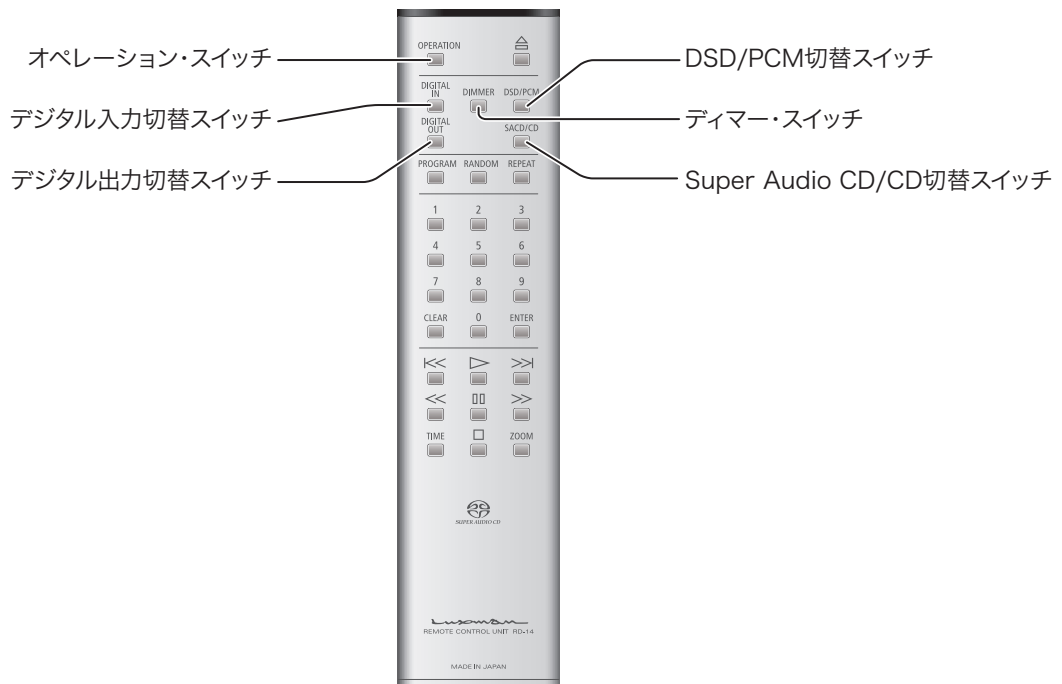
リモコン

### 表示文字の拡大

1. 再生中にリモコンのズーム(ZOOM)スイッチを押すと、トラック番号と時間表示を大きく表示します。  
トラック番号と時間表示以外の情報は表示できません。
2. 更にもう一度ズーム(ZOOM)スイッチを押すと通常表示に戻ります。



# 詳細設定



## ディマー・スイッチ / DIMMER

リモコン

本体表示窓の明るさを調節します。通常の点灯から消灯まで明るさを 4 段階に切り替えられます。“SACD” や “PCM” 等の LED によるインジケータの明るさは変化しません。

1 回押すたびに、通常→やや暗い→暗い→消灯→通常……と変化します。

表示を消灯すると、“DISPLAY OFF” の文字が約 1 秒間表示され、その後に消灯します。

## Super Audio CD/CD 切替スイッチ / SACD/CD

リモコン ・ 本体

Hybrid Super Audio CD を再生するときに、再生レイヤーを HD 層 (通称 SACD 層) と CD 層の間で切り替えます。

### 1. 停止中に SACD/CD スイッチを押します。

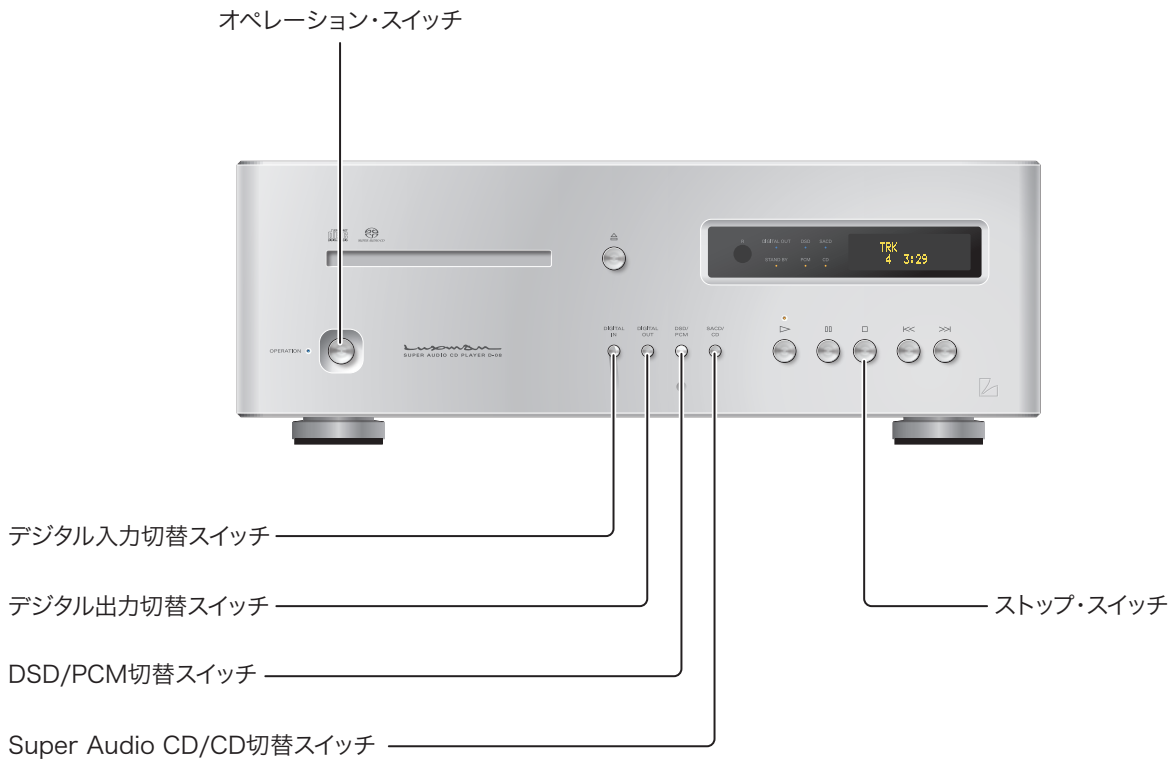
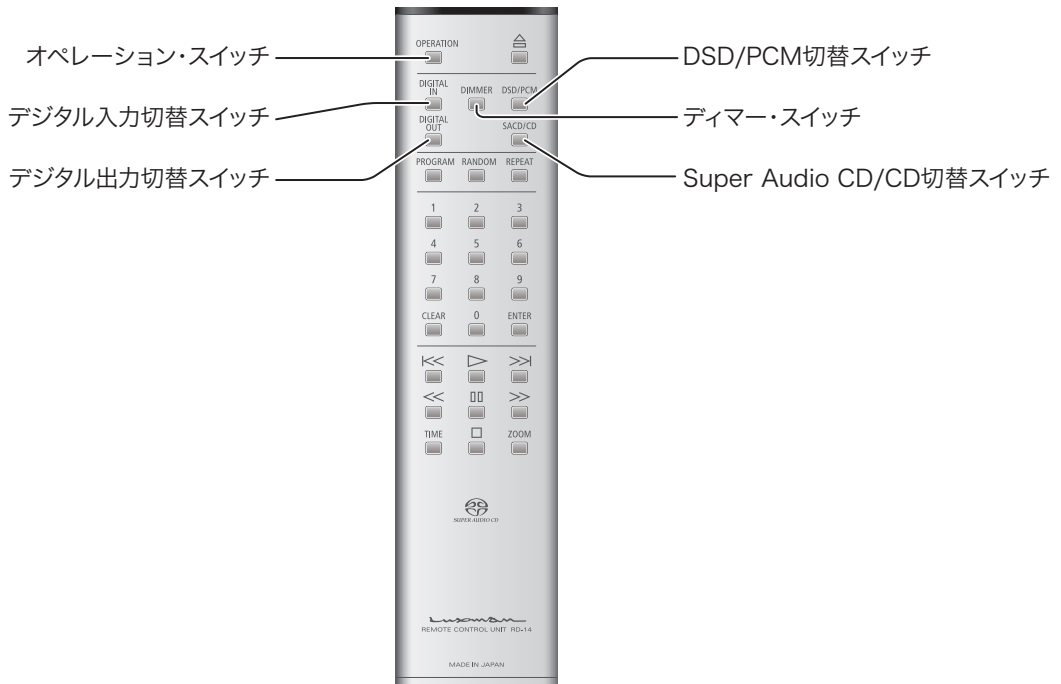
押すたびに、HD 層と CD 層の間で切り替わります。

### 2. HD 層を選択したときは、本体表示窓の Super Audio CD (SACD) インジケータが点灯します。

CD 層を選択したときは、本体表示窓の CD インジケータが点灯します。

- 
- この設定は、別の Hybrid Super Audio CD をローディングした場合でも、有効になります。
  - シングル・レイヤー・ディスク もしくは デュアル・レイヤー・ディスクをローディングした場合は、自動的に HD 層が選択されます。
  - 本機は、SACD マルチチャンネルエリアには対応していません。
-

# 詳細設定



## デジタル入力切替スイッチ / DIGITAL IN

リモコン ・ 本体

本機を D/A コンバーターとして使用するときには押します。

### 1. DIGITAL IN スイッチを押すたびに、COAXIAL → OPTICAL-1 → OPTICAL-2 → INTERNAL(内部プレーヤー)と切り替わります。

デジタル入力のサンプリング周波数は、32kHz・44.1kHz・48kHz・88.2kHz・96kHzに対応しています。

### 2. 本体表示窓に選択した入力とサンプリング周波数が表示されます。

- サンプリング周波数は、IEC60958-3(デジタルオーディオインターフェース第3部コンシューマーアプリケーション)で規定されているチャンネルステータスに含まれるサンプリング周波数データの内容を表示します。  
出力機器によっては実際のサンプリング周波数と違うチャンネルステータスデータ(サンプリング周波数データ)を出すものがあります。その場合は、実際のサンプリング周波数ではなく、チャンネルステータスデータの内容を表示します。  
また機器やソースによっては、“サンプリング周波数を示さない”というデータを出すものがあります。その場合は、“UNKNOWN”と表示されます。
- デジタル入力を切り替えたときに、一瞬“LOCK”が表示されてから“UNLOCK”に、もしくは一瞬“UNLOCK”と表示されてから“LOCK”変わることがあります。これは入力信号が変化してから回路が安定するまでの間(約0.5秒)、直前の状態(LOCK/UNLOCK)を表示しているためです。ご了承下さい。

## デジタル出力切替スイッチ / DIGITAL OUT

リモコン ・ 本体

デジタル音声出力をオン・オフするときに押します。押すたびにオンとオフが切り替わります。

Super Audio CD のHD層を再生しているときは、デジタル音声出力できません。また DIGITAL OUT インジケーターが消灯します。

Hybrid Super Audio CD の CD 層を再生しているときは、デジタル音声出力をオン・オフできます。

## DSD/PCM 切替スイッチ / DSD/PCM

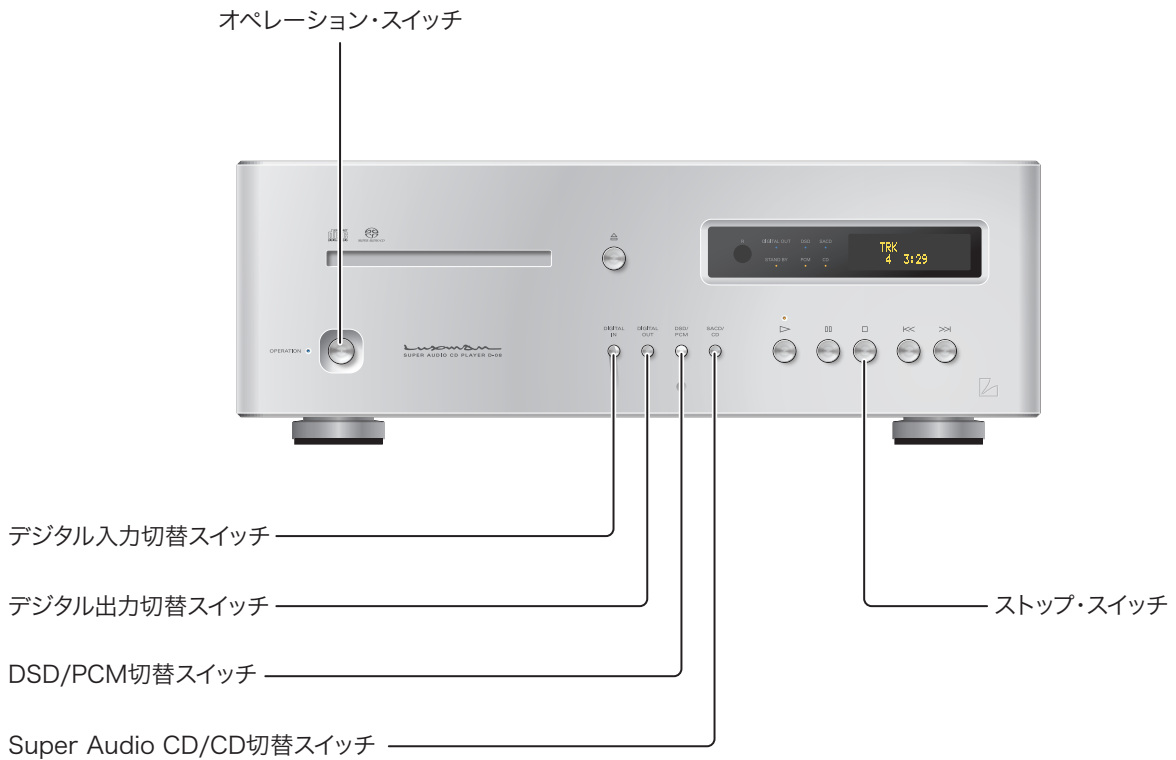
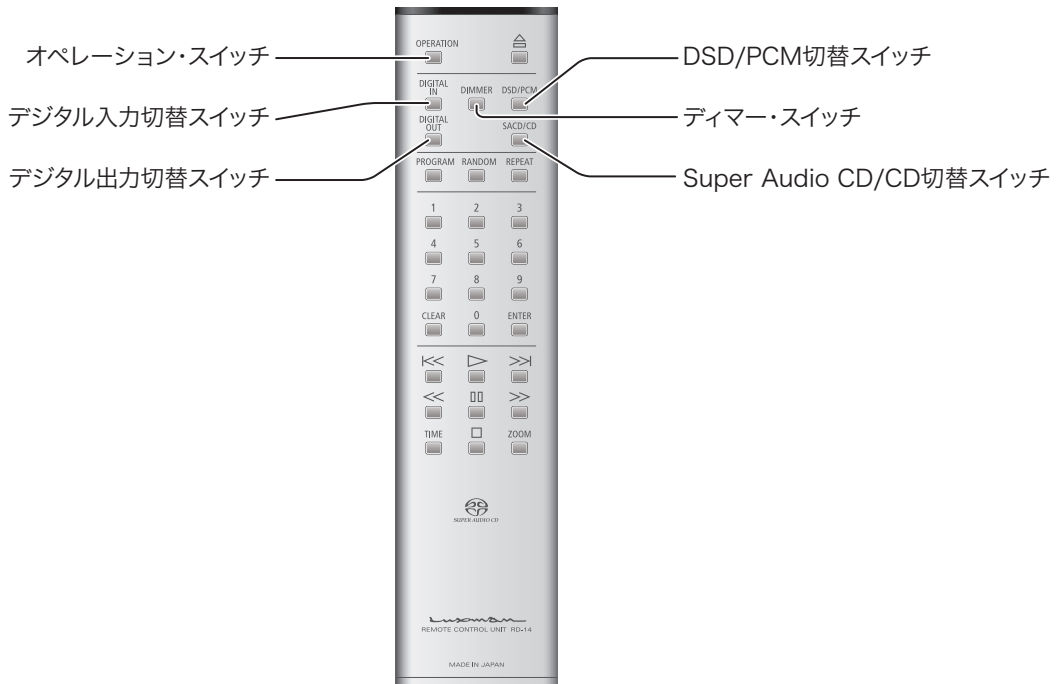
リモコン ・ 本体

**Super Audio CD の HD 層(通称 SACD 層)を再生しているときに、ディスクから得られた DSD 信号をそのまま D/A コンバーター IC に入力するか、DSD 信号を一度 PCM 信号に変換して D/A コンバーター IC に入力するかを選択する時に押します。**

以下の条件では、DSD/PCM 切替は機能しません。

- CD を再生しているとき
- Hybrid Super Audio CD の CD 層を再生しているとき
- デジタル入力を選択している時

# 詳細設定





## すべての設定を出荷時に戻す

すべての設定内容を出荷時の状態に戻します。

1. 本機をスタンバイ状態(待機状態)にします。
  2. 本体のストップ(■)スイッチを押しながら、本体のオペレーション・スイッチを押します。
- すべての設定内容が出荷時の状態に戻ります。

項目	設定値
デジタル入力切替	INTERNAL (内部プレーヤー)
デジタル出力切替	オン
Super Audio CD/CD切替	Super Audio CD (SACD)
DSD/PCM切替	DSD
ディマー調整	通常

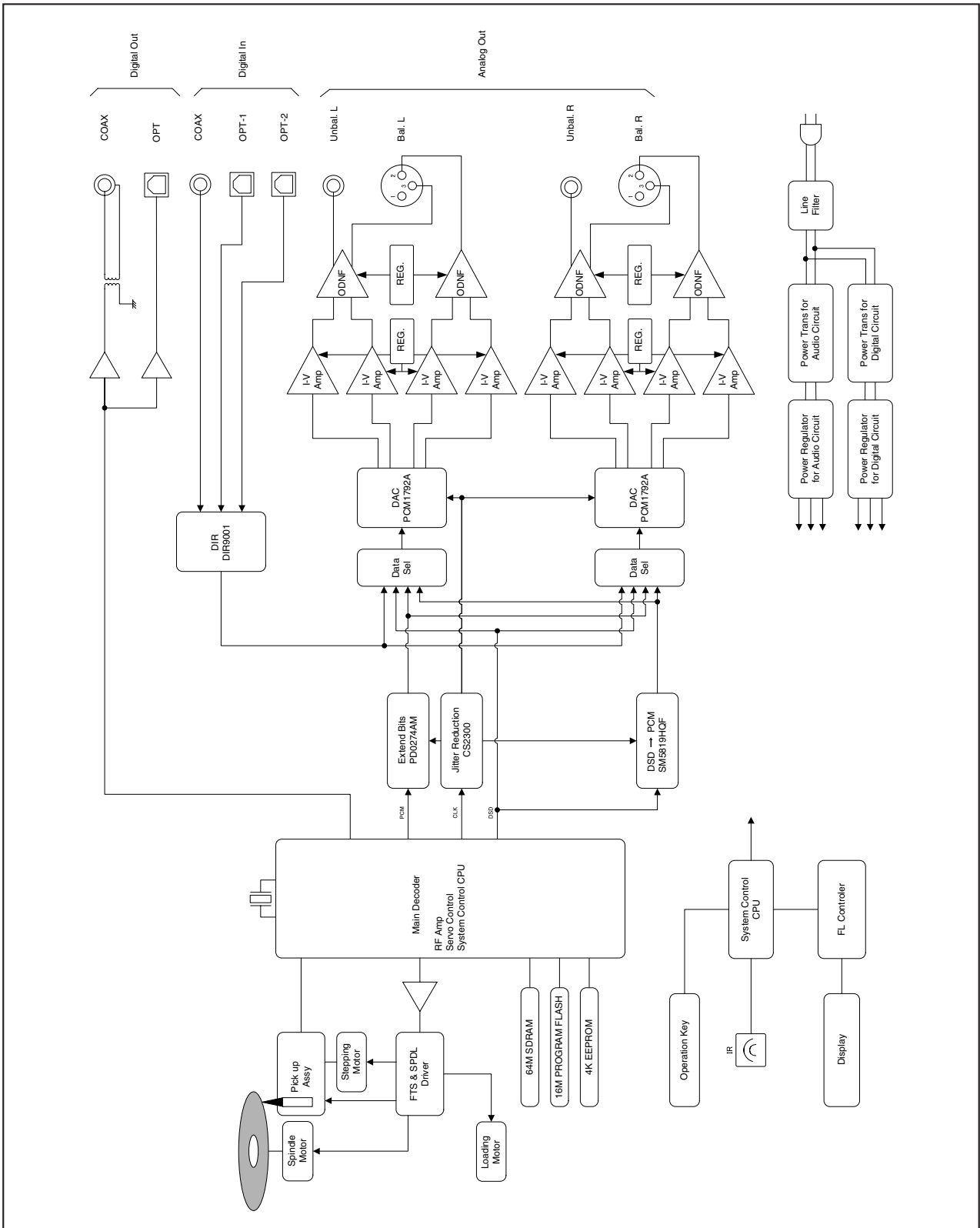
## ラストメモリー機能(各設定の記憶)

オペレーション状態からスタンバイ状態になったときにフラッシュ・メモリーに記憶される設定項目は下記の通りです。

オペレーション状態からスタンバイ状態を経由せずに電源が切れた場合は、異常状態になったと判断して、次にオペレーション状態になったときに出荷設定に戻ります。

項目	値
デジタル入力切替	INTERNAL (内部プレーヤー), COAXIAL, OPTICAL-1, OPTICAL-2
デジタル出力切替	オン、オフ
Super Audio CD/CD切替	Super Audio CD (SACD), CD
DSD/PCM切替	DSD, PCM
ディマー調整	通常、やや暗い、 暗い、消灯

# BLOCK DIAGRAM



# 規 格

形式	2チャンネル・スーパーオーディオ CD, CD		
電源	AC100 V, 50/60 Hz		
消費電力	32 W(電気用品安全法の規定による) 1 W(待機時)		
本体質量	22.5 kg		
外形寸法	440(W) × 154(H) × 413(D)mm		
許容動作温度 / 湿度	+ 5 °C ~ + 35 °C / 5 % ~ 85 % (結露のないこと)		
音声出力特性	出力電圧 / 出力インピーダンス :	UNBALANCE 端子(RCA 端子) 2.5 Vrms/300 Ω BALANCE 端子(XLR 端子) 2.5 Vrms/600 Ω SACD/DSD の場合(-0.5 dB) 2.35 Vrms	
	周波数特性 :	CD, SACD 5 Hz ~ 20 kHz(+0, -0.4 dB) SACD 5 Hz ~ 50 kHz(+0, -3 dB)	
	全高調波歪率 :	CD 0.0013 % SACD/DSD 0.0017 % SACD/PCM 0.0006 % DIGITAL IN 0.0007 %	
	S/N :	CD 124 dB SACD/DSD 104 dB SACD/PCM 120 dB DIGITAL IN 122 dB	
	ダイナミックレンジ :	CD 101 dB SACD/DSD 104 dB SACD/PCM 118 dB DIGITAL IN 117 dB	
	チャンネル・ セパレーション :	CD 124 dB SACD/DSD 104 dB SACD/PCM 116 dB DIGITAL IN 122 dB	
	デジタル入力	同軸デジタル入力 :	0.2 ~ 2.5 Vp-p
		光デジタル入力 :	-14.5 ~ -24 dBm
		サンプリング周波数 :	32 kHz・44.1 kHz・48 kHz・88.2 kHz・96 kHz (各 16 ~ 24 bit 2 ch PCM)
	デジタル出力	同軸デジタル出力 :	RCA 端子 0.5 Vp-p/75 Ω
		光デジタル出力 :	光デジタル端子 -15 ~ -21 dBm

※規格および外観は予告なく変更することがあります。

## 修理に出される前に

ご使用中に、何らかの原因で故障と間違えることがあります。修理に出される前に下記の表、および併用機器の取扱説明書をご覧のうえ、ひと通り確認してください。故障の原因がわからない場合は、お買い上げの販売店、もしくは弊社サービス・センターへお問い合わせください。なお、修理の依頼をお受けした場合は、故障でなくても点検代、出張費等をいただくことがあります。

症 状	原 因 / 対 策	参照ページ
電源が入らない	・電源ケーブルを AC IN およびコンセントに正しく接続する。	22
ディスクテーブルを閉めても出てきてしまう	・ディスクをディスクテーブルに正しくセットする。	24
	・ディスクをクリーニングする。	2
再生できない	・ディスクをクリーニングする。	2
	・ディスクをディスクテーブルに正しくセットする。	24
	・本機の内部の結露を除去する。	1
	・ディスクの表裏を正しくセットする。 (レーベル面を上側にする)	
設定内容が消える	・電源が入っているときに、停電や電源ケーブルが抜かれて電源が切れてしまったときは、設定内容が消えてしまいます。電源ケーブルは必ずオペレーションボタンを押して、表示窓の[-STANDBY-]表示が消えてから、抜いてください。	46
リモコン操作できない	・リモコンの使用範囲で操作する。	8
	・リモコンの電池を新しいものと交換する。	7
	・受光部に強い日光や照明(インバーター蛍光灯など)が当たっている。 受光部に強い光が当たらないように、本機の置き場所や方向を変えてください。	8
テレビなどが誤動作する	・ワイヤレスリモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコンにより誤作動するものがあります。本機と離して使用してください。	8

症 状	原 因 / 対 策	参 照 ページ
スピーカーから音が出ない、音が歪む	・音声ケーブルが正しく接続されているか確認する。	22
	・デジタル接続しているときは[デジタル出力]の設定を[オン]にする。	22
	・ディスクをクリーニングする。	2
	・アンプなどの音量が最小になっているときはボリュームを調節する。	
	・接続プラグの差し込みが不十分、または外れていないか確認する。	
	・接続プラグや端子が汚れていたらアルコール等で洗浄する。	22
デジタル音声デジタル出力できない	・[デジタル出力]の設定を[オン]にする。	22
	・Super Audio CDではデジタル音声を出力できません。CDを選択して下さい。	22
SACD、CDで音量差を感じる	・ディスクの記録方式の違いによるものです。	

静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源ケーブルを一度抜いて再び差し込むことで正常動作になる場合があります。これで解決しないときは、お求めの専門店または弊社サービスセンターにご相談ください。

## アフターサービスと品質保証について

---

ラックスマンのオーディオ製品には、個々のパーツの選択から製造工程、出荷にいたるまで、数多くの厳しいチェックを施し、万全の品質管理を期していますが、万一本機が故障したときは弊社サービス・センターまたはお求めの専門店までご連絡ください。状況に応じた出張修理または持ち込み修理をさせていただきます。なお、遠隔地の場合は修理品のご送付をお願いすることもありますが、ご容赦ください。

本機の保証期間は購入日より起算して2年間(ただし、レーザーピックアップなどの消耗品は1年間)です。この期間中に発生した自然故障は一切弊社の責任において無料修理させていただきます。保証登録書は、本機のパッキングケース内に入っていますので、お買い上げ販売店で、販売年月日、店名の記入捺印を受けた上、弊社に送付してください。保証期間内の修理お申しつけの節は必ず弊社発行の保証書を添えてください。保証期間外、保証書がない場合の修理については実費でお引き受けします。

**ラックスマン株式会社**

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 1-3-1

AG00987C46A  
Printed in Japan

